

許せません! 国保税一人あたり6千円の値上げに

日本共産党は「国保税値上げ条例」に反対! 「修正案」を提案

12月22日の本会議。傍聴席から多くの市民が見守るなか、「国保税値上げ条例」が自民、公明、民主、社民、ネット、みんな、諸派など日本共産党以外の賛成で可決されました。

「国保税値上げ条例」は被保険者一人あたり6125円(10%)の値上げとなります。旧ただし書き所得で150万円の3人世帯(40代)では、19万8000円の保険税が21万7000円に1万9900円もの値上げとなります。

このことを知った市民から、「こんなに暮らしが大変なとき、値上げなんて許せない」と市長宛に6900筆の署名が提出されました。また、市議会には「国保税の引き上げ中止を求める請願」(不採択)が出されました。



「国保税、また上がった!」と怒る高齢者

国保税値下げのためにがんばります

日本共産党市議団は、「国保税値上げ条例」に対して、「値上げをしないほしい」という市民の切実な願いにこたえるべき」と、値上げ部分を削除する「修正案」を提出しました。この提案に対して他党からは質疑も討論もなく、「修正案」は否決されました。日本共産党は、市民のみなさんの切実な願いにこたえ、国保税の値下げに向けてがんばります。

12月議会一般質問

行政サービスに受益者負担とは

佐々木智子市議は、町田市の「受益者負担の適正化に関する基本方針」は、行政サービスに利潤追求型の考えを導入するもので、新たな市民負担増になると質しました。石坂市長は、「行政が効率的にやるのは義務だ」と、受益者負担を強化する考えを示しました。



佐々木とも子
TEL (793) 4137

ホームレスをなくし人間らしい生活実現を

町田駅周辺でホームレスを余儀なくされている人たちが増えています。とのむら市議はきめ細かい対応で救済するよう求めました。公共施設の管理を請け負う会社で働く労働者の最低賃金問題についての質問には、業務委託契約についても最低制限価格の設定を検討するとの答弁がありました。



とのむら健一
TEL (793) 5458

医療費の窓口負担減免の周知・拡充を

国保法第44条にもとづく、医療費の窓口負担減免制度の周知・拡充を求めた質問に対して、医療機関に周知すると答弁。



池川友一
TEL (734) 1116

他にも、国民健康保険の保険証とりあげ中止、高校中退者やひきこもりなど若者の就労支援の拡充、鶴川から市民病院までの直行バス実現などを求めて質問しました。

認可保育園の新設で保育園待機児解消を

保育園待機児ゼロの実現を求め質問しました。町田市の保育計画では待機児解消の目標が192人と大幅に遅れているため、計画の立て直しを求めました。100人規模の新築型3園、公募を前倒しで行い、2012年開設すると部長が答弁しました。また、待機児を支える無認可保育室への支援も強く求めました。



細野りゅう子
TEL (796) 8163

ごみ減量のためのさらなる施策を

「町田市廃棄物資源化基本計画中間答申」を受けての市の具体的な減量施策を質問。今後パブリックコメントを経て、リサイクルセンターの改修も見すえ、廃プラスチックごみと生ごみの減量と資源化の方針を作ると答弁がありました。



佐藤よう子
TEL (797) 5948

無料 法律相談のご案内

2月9日(水) 町田市役所5階 日本共産党控室

2月23日(水) 場所は未定

午後2時から

事前に、予約を入れてください。042(723)6312 もしくは、各市議会議員までご連絡ください。

●「自治基本条例」は否決に

市長提案の「町田市自治基本条例」が、日本共産党を含む反対多数で否決されました。日本共産党は、憲法と地方自治法にもとづき「住民の福祉の増進」をめざしたよりよい「条例」づくりのためにがんばります。

●公立保育園9園中4園を民営化 — 町田市は保育の公的責任を果たすべき

公設民営のわかば、森野3丁目保育園を2012年度から民設民営に移行する条例が日本共産党以外の賛成で可決。また、2014年度から公設公営の森野、本町田保育園を民設民営にする計画も示されました。

高齢者の医療費 無料化を条例提案

民主党政権は、高齢者差別の後期高齢者医療制度の廃止を先送りにしたばかりか、中身はほとんど変わらない「新制度」を検討しています。そのもとで日本共産党市議団は、12月議会に75歳以上の低所得者に対して医療費の窓口負担を全額無料にする「町田市高齢者の医療費助成に関する条例」を提案。健康福祉常任委員会で「継続審査」となりました。